


生薬解説 265 たー10

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
中医学生薬解説、参考・使用上の注意		および中医学以外の生薬解説・生薬学解説	
たー10	だいふくひ 大腹皮	辛・微温 脾・胃・大腸・小腸	3～9g、煎服。
中医生薬解説			
 <p data-bbox="380 581 590 611">ビンロウの成熟果皮</p>		<p data-bbox="730 368 2007 397">下気寛中 湿阻気滞の腹満、痞え、排便がすっきりしないなどの症候に、藿香・厚朴・茯苓などと用いる「藿香正気散」。</p> <p data-bbox="730 403 2007 433">行水消腫・止瀉 水湿外溢の全身浮腫、尿量減少などに、生姜皮・茯苓皮・桑白皮などと用いる「五皮飲」。</p> <p data-bbox="919 439 2007 468">脚気の腫脹、疼痛に、檳榔子・牽牛子・桑白皮・木通などと用いる。</p> <p data-bbox="919 474 2007 504">湿困脾胃の腹満、下痢に、茯苓・厚朴・茵陳・蒼朮などと用いる「一加減正気散」「五加減正気散」。</p>	
		<p data-bbox="659 617 2007 691">参考 大腹皮と檳榔子は、同じビンロウジュの果皮と種子で効能が似ているが、檳榔子のほうが行気の効能が強く、瀉下に働き殺虫の効能を持ち、大腹皮は止瀉に働く。</p> <p data-bbox="659 697 2007 721">使用上の注意 耗気するので、気虚には慎重を要する。</p>	